

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.391 2011.7.1 <http://www.oakv.co.jp>

木組みの神殿

日本人は、太古の昔から森の恵みを
いただいていた。

建物を建てる際にも、我々の祖先は
木を素材にし、木と木を組み上げて、
家や倉庫などを建てた。

現代のように釘や接着剤がない中、
知恵と工夫と技術で乗り越えてきた。

ここ駿河の地は、弥生時代後期の集
落遺跡（登呂遺跡）が発見された
我々のルーツを知る上で非常に大切
な場所である。

今回、その歴史的に意味のある地に、
自らの手を動かし道具を使って木
組みの神殿を建てた。

（次頁に続く）

オークヴィレッジ木造建築研究所
上野 英二 文
Text by Eiji Ueno
齋部 功 写真
Photographs by Isao Imbe